

コース名	科目名			対象学年
臨床医学	免疫・アレルギー疾患			4
開講学期	科目責任者	副責任者		
1学期	守田 吉孝	佐々木 環	全体資料 無	

授業到達目標

【免疫系】

1. 代表的な膠原病を列挙でき、その特徴を説明できる。
2. 代表的な自己抗体を列挙でき、その臨床的意義を説明できる。
3. 関節炎をきたす疾患を列挙し、その特徴を説明できる。
4. 全身性エリテマトーデスの病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
5. 関節リウマチの病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
6. 皮膚筋炎・多発性筋炎の症候、診断と治療を説明できる。
7. 全身性強皮症・混合性結合組織病の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
8. 血管炎症候群を列挙し、その病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
9. シェーグレン症候群・ベーチェット病を概説できる。

【アレルギー系】

1. アレルギー疾患の特徴とその発症を概説できる。

【先天性免疫不全症】

1. 先天性免疫不全症の病態、診断と治療を説明できる。

基礎医学知識の土台の上に、臨床医学を理解する姿勢は医師として一生必要である。本科目では自己免疫疾患やアレルギー疾患はなぜおこるのか？ という問いに対し、免疫学や臨床免疫学の知識を基に病態を説明できることも、授業到達目標とする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	4/ 1	月	6	講義	守田	リウマチ	全身性エリテマトーデス (SLE)	E-4-3)-(1)-1, E-4-3)-(3)-1 E-4-3)-(3)-2, E-4-3)-(3)-3
2	4/ 3	水	4	講義	藤田	リウマチ	多発性筋炎・皮膚筋炎	E-4-3)-(4)-2
3	4/11	木	5	講義	守田	リウマチ	関節リウマチ (I)	E-4-3)-(2)-1, E-4-3)-(2)-2
4	4/11	木	6	講義	藤田	リウマチ	全身性強皮症・混合性結合組織病	E-4-3)-(4)-1, E-4-3)-(4)-3
5	4/12	金	5	講義	守田	リウマチ	関節リウマチ (II)	E-4-3)-(2)-1
6	4/18	木	4	講義	藤田	リウマチ	シェーグレン症候群・成人スチル病	E-4-3)-(2)-3, E-4-3)-(4)-4
7	4/18	木	5	講義	向井	リウマチ	血管炎症候群 (I)	E-4-3)-(5)-1
8	4/24	水	1	講義	向井	リウマチ	血管炎症候群 (II)	E-4-3)-(5)-1
9	5/ 8	水	3	講義	向井	リウマチ	自己炎症性疾患・ベーチェット病	E-4-3)-(5)-2
10	5/ 8	水	4	講義	佐々木	腎内	膠原病の腎障害	E-4-3)-(3)-2, E-4-3)-(4)-1
11	5/10	金	7	講義	林宏	皮膚	膠原病の皮膚病変 (I)	E-4-3)-(1)-3, F-1-12)
12	5/22	水	3	講義	向井	リウマチ	脊椎関節炎	E-4-3)-(1)-2
13	5/22	水	4	講義	佐々木	腎内	血管炎症候群の腎障害	D-8-4)-(6)-4, E-4-3)-(5)-1
14	5/28	火	1	講義	中野	小児	小児の膠原病	E-4-3)-(1), E-4-3)-(2)-4 E-4-3)-(5)-3
15	5/28	火	2	講義	守田	リウマチ	膠原病の肺障害	E-4-3)-(2)-2, E-4-3)-(4)-2
16	6/ 3	月	5	講義	林宏	皮膚	膠原病の皮膚病変 (II)	E-4-3)-(1)-3, F-1-12)
17	6/ 5	水	6	講義	藤田	リウマチ	関節炎の鑑別診断 ーリウマチ性多発筋痛症・痛風も 含めてー	E-4-3)-(1)-2
18	6/11	火	1	講義	林宏	皮膚	皮膚のアレルギー・薬疹	E-4-3)-(6), E-4-3)-(6)-2 F-2-8)-2

19	6/11	火	2	講義	石原克	免疫	臨床免疫：自己免疫疾患	C-3-2), E-4 E-4-3)-(1)-1
20	6/13	木	4	講義	石原克	免疫	免疫不全症－疾患からみる免疫系の仕組み－	C-3-2), E-4-3)-(7)-1
21	6/19	水	1	講義	尾内	小児	小児のアレルギー(I)	E-4-3)-(6)-1, E-4-3)-(6)-2 E-4-3)-(6)-3
22	6/21	金	7	実習	西村広	病理	免疫異常の病理実習(I)	E-4-3)-(3)-1, E-4-3)-(4)-1
23	6/25	火	5	講義	尾内	小児	小児のアレルギー(II)	E-4-3)-(6)-1, E-4-3)-(6)-2 E-4-3)-(6)-3
24	6/25	火	6	実習	西村広	病理	免疫異常の病理実習(II)	E-4-3)-(4)-2, E-4-3)-(5)-1
25	6/27	木	1	講義	石原克	免疫	臨床免疫：アレルギー疾患	C-3-2), E-4-3)-(6)-1 E-4-3)-(6)-2, E-4-3)-(6)-3
26	6/27	木	2	実習	西村広	病理	免疫異常の病理実習(III)	E-4-3)-(2)-1, E-4-3)-(4)-4
評価方法								
[期末試験]95% (学期末に試験を行う。) [レポート]5% (病理実習レポートを評価する。) [評価方法]多肢選択試験、論文・レポート								
課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて								
病理実習レポートについては、レポート全体に対して一括した評価をフィードバックする。 試験の回答に質問がある場合は講義担当者あるいは科目責任者に直接連絡してください。								
教科書								
ISBN-9784254322712, 内科学, 矢崎義雄総編集 ; 赤司浩一 [ほか] 編集, 朝倉書店, 2017 ISBN-9784895928649, エッセンシャル免疫学 第3版, ピーター・パラム著, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016/9/2								
参考書								
ISBN-9784758303668, 膠原病・リウマチ診療 第3版 Evidence Based Medicine を活かす, 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター (編集), メジカルビュー社, 2013/04 ISBN-9784525167547, 免疫学コア講義 改訂4版, 熊ノ郷淳 [ほか] 編集, 南山堂, 2017/11/15 ISBN-9784758120807, 免疫ペディア : 101のイラストで免疫学・臨床免疫学に強くなる!, 熊ノ郷淳編集, 羊土社, 2017 ISBN-9784260009324, 標準免疫学 第3版 (Standard textbook), 谷口 克, 医学書院, 2013/03/27 ISBN-9784521745817, あたらしい皮膚科学 = Textbook of modern dermatology, 清水宏著, 中山書店, 2018 ISBN-9781437707557, Nelson textbook of pediatrics, [edited by] Robert M. Kliegman ... [et al.], Elsevier/Saunders, 2011								
準備学習 (予習・復習等)								
予習 : 開講するまでに免疫と生体防御の講義を少なくとも数時間かけて復習しておくこと。 復習 : 講義中に学習した内容に関する問題を解き、解説を行う。毎回の講義後には30分程度復習をすること。 各疾患を学んだ後に、「膠原病の腎障害」「膠原病の肺障害」「膠原病の皮膚病変」など臓器病変から複数の疾患をまとめて学ぶ講義、「臨床免疫：自己免疫疾患」「臨床免疫：アレルギー疾患」など基礎医学を復習する講義、さらに病理実習がある。これらの講義や病理実習を受ける前には、疾患別講義の内容を数時間かけて復習しておくこと。								
講義についての注意事項								
病理実習に関しては、マルチメディア教室 (M-710) でバーチャルスライドを用いて行う。2学年で購入した病理実習用レポート用紙を準備すること。								
昨年度からの変更点・改善項目								
講義担当者全員が講義前あるいは講義直後に講義プリントをアップロードするよう徹底する。 評価基準に、病理実習レポートの評価(5%)を加えている。これにより、期末試験の評価割合を95%とした。								
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について								
本科目の後に学ぶ症候論や臨床病態論の他、臨床実習開始のために必要な医学知識を習得し臨床医科学を理解する。								
ナンバリング								
DPCA409								